

参 考 资 料

大学等における学生支援の取組状況に関する調査(平成25年度)

調査票

【回答上の留意点】

- 回答は、回答用ファイル(Excel)に入力し、提出してください。
- 設問に年度の記載がない場合は、平成25年度中に実施、あるいは実施予定のものについて回答してください。
- 各設問における取組や実施状況に関し、一部の学部・学科に限って実施している場合については、実施しているものとして回答してください。
- 対象となる学生は、学部生(学科生)、大学院生、専攻科生、別科生となります。
- 短期大学(部)を併設されている場合は、それぞれに回答してください。

【I 学生支援に関する組織等】

1 学生支援に関する組織等について、お答えください。

1-① 下記の例にならって、組織名称、支援内容、担当人数を記入してください。

(1) 組織名称

貴学（校）における学生支援に関する組織の名称を記入してください。

※委員会組織は対象外とします。

※組織を全学的に記入する場合には、「キャンパス別」欄に「全」と記入し、組織をキャンパス毎に記入する場合には、同欄に「A、B、C・・・」とアルファベット記号を付してください。

(2) 支援内容

(1) で記入した組織が所掌する支援内容について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- 1 修学支援に関するもの[教務・学習関係]
- 2 キャリア教育に関するもの
- 3 就職支援に関するもの
- 4 対人関係、心理・性格の相談に関するもの
- 5 メンタルヘルスの支援に関するもの
- 6 障害学生への支援に関するもの
- 7 生活支援に関するもの[事件事故防止に関する指導・施設等への支援など]
- 8 経済的支援に関するもの
- 9 留学生への支援に関するもの[外国人留学生への支援、日本人学生の海外留学への支援]
- 10 課外活動支援に関するもの[部・サークル活動等]
- 11 その他（ ）

(3) 担当人数

(1) で記入した組織の担当人数を、次の区分毎に記入してください。

職員：常勤

非常勤

教員：常勤本務（当該組織に主として所属している者）

常勤兼務（別の学内組織に主として所属している者）

非常勤

(記入例)

キャンパスの別	(1) 組織名称 (記入してください)	(2) 支援内容											(3) 担当人数				
		1 修学支援	2 キャリア教育	3 就職支援	4 対人関係・心理・ 性格の相談	5 メンタルヘルスの 支援	6 障害学生支援	7 生活支援	8 経済的支援	9 留学生への支援	10 課外活動支援	11 その他（ ）	職員		教員		
													常勤	非常勤	本常勤	兼常勤	非常勤
全学的に 記載する場合	全 学生課		○	○	○		○	○	○	○	○		16	6			
	全 学生相談室	○			○		○	○					2	2	2		6
キャンパス毎に 記載する場合	A ○○キャンパス 学生課			○	○		○	○	○	○	○		10	3			
	A 学生相談室	○			○		○	○					1	1	1		3
	B ××キャンパス 学生課		○										6	3			
	B 学生相談室				○			○					1	1	1		3

【Ⅱ 修学支援】

2 修学支援の一環として実施している取組のうち、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 入学前教育、補習講座の実施
- b オンライン履修登録、成績確認システムの導入
- c 学生が作成するポートフォリオの導入
- d アカデミックアドバイジング（科目選択、履修登録支援）
- e 担任やアドバイザーからの学生に対する定期的な連絡や確認
- f 学習スキル（レポートの書き方など）のための授業や課外の講座を開設
- g 学習支援センター等における個別指導
- h 上級生・大学院生による学習サポーター（TA・SA等）の設置
- i 成績優秀者に対する表彰（学長賞など）
- j 成績優秀者に対する奨学金の授与・授業料免除
- k 保護者に対する成績通知
- l 修学支援を目的とした、保護者に対する説明会や相談会等の実施
- m LMSーラーニング・マネジメント・システム（インターネットを利用した学習管理システム）の導入・運営（MoodleやBlackboardなど）
- n 図書館に付設されたラーニングコモンズ（※）の設置
- o 図書館とは独立したラーニングコモンズの設置
- p 外国語のチャットルームの設置
- q その他（ ）

※ラーニングコモンズ：
学生が学習のために集うことのできる共有スペースを指します。グループ活動エリア、プレゼンテーションエリア、PC利用エリア等、個人の自習環境に加え、グループワークにも適した学習環境を指しています。

3 修学に関する相談について、下表1～13の項目における最近3年程度の傾向として、該当する記号（a～c）を1つ選んでください。

相談内容	a～cから1つ選択
1 授業の内容	
2 外国語の勉強法	
3 数学、物理など理系基礎に関すること	
4 ノートの取り方	
5 レポートや論文の書き方	
6 ICTの使い方	
7 図書館等の利用法	
8 履修登録・科目選択について	
9 プレゼンテーションの方法	
10 授業の進度やレベル	
11 教員との相性や人間関係	
12 授業における友人関係	
13 教員の授業法や授業管理	

- a 増えている
- b あまりかわらない
- c 減っている

4 出席状況が悪い学生や不登校の学生に対する取組について、お答えください。

4-① 出席状況が悪い学生や不登校の学生に対する取組について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 教務・学生部等／学部・学科が、早期発見のため出席確認を行なっている
- b 教務・学生部等／学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している
- c 科目担当者等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している
- d 担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している
- e 学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している
- f 教職員向けの対応マニュアルを作成している
- g 教職員に対して研修を実施している
- h 学生向けの啓発のリーフレット等を作成している
- i 学生にガイダンス等で説明している
- j 学生と面談を行なっている
- k 保護者に連絡をとっている
- l ピア・サポート（※）を活用している
- m 休学制度を柔軟に運用している
- n 進路変更の相談をしている
- o 学外の機関等と連携、ネットワークを形成している [内容：（ ）]
- p その他（ ）

※ピア・サポート：学生生活上で支援（援助）を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う制度。

4-② 出席状況が悪い学生として対応している学生について、貴学（校）の判断の目安があれば記入してください。

（例：実習、就職活動以外の理由で、講義等を3回以上連続欠席等（ ））

4-③ 不登校の学生として対応している学生について、貴学（校）の判断の目安があれば記入してください。

（例：進学・卒業に必要な単位取得に必要な出席数の半分以下の出席等（ ））

5 修学支援に関して、課題となっていることがありましたらお書きください。

（ ）

【Ⅲ 就職支援・キャリア支援】

6 インターンシップ（※）の実施状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。また、実施している場合（a～dに該当する場合）には、必要な事項を記入してください。

※教育実習・医療実習・看護実習などの、特定の資格取得を目的とするものを除く

- a 大学全体で授業科目として実施
[対象学年：（ ）年生（複数学年の記入可）]
- b 学部単位で授業科目として実施
[対象学年：（ ）年生（複数学年の記入可）]， [学部名：（ ）]

- c 大学全体で正課外活動として実施
[対象学年：（ ）年生（複数学年の記入可）]
- d 学部単位で正課外活動として実施
[対象学年：（ ）年生（複数学年の記入可）]，[学部名：（ ）]
- e 授業科目としても正課外活動としても、実施していない

7 大学が必修科目として設定したキャリア科目の開設状況について、該当する項目を1つ選んでください。

- a 開設している
- b 開設していない

8 就職支援に関する担当者について、お答えください。

8-① 担当者はどなたですか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 教員（常勤本務）
- b 教員（常勤兼務）
- c 教員（非常勤）
- d 職員（常勤）
- e 職員（非常勤）
- f その他（ ）
- g いない

8-② 担当者の中に、専門的な訓練を受けた方はいますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。また、aを選んだ場合には、必要な事項を記入してください。

- a キャリアコンサルタント等の資格を取得した者 [資格名：（ 複数の記入可 ）]
- b JASSO等の就職・キャリア関係の研修会を受講した者
- c その他（ ）
- d いない

8-③ 担当者として、学外からの人材の採用・配置をしていますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 企業等の人事担当経験者
- b 就職支援関連企業等の経験者
- c 卒業生
- d その他（ ）
- e いない

9 就職ガイダンス・セミナー等の実施状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。また、実施している場合（a～bに該当する場合）には、必要な事項を記入してください。

- a 全学で実施している
[対象学年：（ ）年生（複数学年の記入可）]
- b 学部単位で実施している
[対象学年：（ ）年生（複数学年の記入可）]，[学部名：（ ）]
- c 実施していない

10 進路状況を把握するための調査について、平成24年度の実施状況をお答えください。

10-① 卒業年次の学生全員に対する調査を実施していますか。該当する項目を1つ選んでください。
また、実施している場合には、必要な事項を記入してください。

- a 実施している [回数：年（ ）回]
- b 実施していない

10-② 卒業生の現況調査を実施していますか。該当する項目を1つ選んでください。また、実施している場合には、必要な事項を記入してください。

- a 実施している
[全学で実施、学部単位で実施、全学で対象を抽出して実施、学部単位で対象を抽出して実施、から選択]，[卒業後（ ）年目に実施]
- b 実施していない

11 卒業生に対する支援の状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 未就職者からの就職相談を受け付けている
- b 離職者からの就職相談を受け付けている
- c 未就職者に能力開発や資格取得等のための講座を開放している
- d 離職者に能力開発や資格取得等のための講座を開放している
- e 未就職者に求人情報を提供している
- f 離職者に求人情報を提供している
- g その他（ ）

12 就職支援に関し、連携している学外の就職支援組織・団体について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 国や自治体主体の就職支援組織・団体（ハローワーク、ジョブパーク、ジョブカフェなど）
- b 就職支援関連企業（就職支援情報企業、人材派遣企業など）
- c 地元の経営組織・団体・企業（商工会議所、経営者協会など）
- d 大学や学部等の同窓会組織
- e 資格取得のための専門学校・スクール
- f その他（ ）
- g 実施していない

13 就職支援・キャリア支援に関して、課題となっていることがありましたらお書きください。
()

【IV 生活支援】

14 学生に対する事件・事故の防止等に関する指導・啓発について、どのような取組を実施しているかお答えください。

14-① 下表の事項1～15について、実施している取組項目(a～h)をすべて選んで○をつけてください。また、現在、特に対応が困難な事項について、上位3つを困難な順に1から数字を記入してください。

事項	取組項目								現在、特に対応が困難なもの (上位3つに数字を記入)
	a ガイダンス	b 授業 (初年次)	c 授業 (初年次を除く)	d 学内広報物による周知	e ホームページに掲載	f 啓発的な講演会等の開催	g 教職員に対する研修	h その他の取組	
1 薬物乱用防止に関すること※									
2 飲酒問題に関すること									
3 喫煙問題に関すること									
4 メンタルヘルスに関すること									
5 健康管理に関すること									
6 通学上の安全に関すること									
7 海外渡航の際の安全確認に関すること									
8 マナー・モラルに関すること									
9 SNS等の利用に関すること									
10 消費者問題に関すること									
11 ハラスメント防止に関すること									
12 カルトに関すること									
13 配偶者・恋人からの暴力防止に関すること									
14 年金問題に関すること									
15 その他 ()									

※ 薬物乱用とは、医療品を医療目的からはずれて使用すること、医療目的に使われない薬物を不正に使用することを意味します。

14-② 14-①で「h その他の取組」に○をつけた場合にお答えください。対象としている事項を上表1～15から選んで数字を記入し、貴学(校)の取組のうち特色があると思われる取組を、具体的に記入してください。

事項 (1～15を記入)	上表a～g以外の特色ある取組を具体的に記入してください

15 学生生活に関する施設の設置状況について、お答えください。

15-① 下表の a～h の施設について、設置しているものをすべて選んで○をつけてください。
また、平成 23 年度以降、平成 25 年度末までに新たに設置・増設した（する）ものについては◎をつけ、その理由を記入してください。

施設名	設置している (○を記入)	平成 23 年度～25 年度末 までに新設置・増設 (◎を記入)	新たに設置・増設 した(する)理由
a 保健管理施設			
b 課外活動施設 (サークル施設など)			
c 食堂・喫茶			
d 学生プラザ・フリースペース			
e 託児所 (学生の子どもを受入れ対象とする)			
f 学生団体のための部屋			
g 学生寮 (寄宿舍)			→15-②へ
h その他 ()			

15-② 15-①で「g 学生寮 (寄宿舍)」を、新たに設置・増設した(する)場合のみお答えください。新たに設置・増設した(する)理由について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 学生の経済的問題への配慮
- b 快適な生活環境の提供
- c 地方学生の確保
- d 大学への帰属意識の醸成
- e 共同生活を通じた規律意識の醸成
- f コミュニケーション能力の向上
- g 問題解決能力の修得
- h 留学生との共同生活による異文化理解・外国語能力の向上
- i その他 ()

15-③ 15-①の a～h の施設の利用に関して、特に工夫していることがあれば具体的に記入してください。

施設 (a～hを記入)	工夫している内容を具体的に記入してください (例：〇〇のため100円朝ごはんを提供、××のため喫茶をリニューアル等)

16 生活支援 (学生に対する事件・事故の防止等に関する指導・啓発、学生生活に関する施設の設置等) に関して、課題となっていることがありましたらお書きください。

()

【V 課外活動支援／ピア・サポート／ボランティア】

17 貴学（校）として公認している課外活動団体（クラブ、サークル、同好会等。以下「公認サークル」という。）の、団体数と加入人数を記入してください。把握していない場合には、「把握していない」と記入してください。

文化系 [団体数：（ ）団体] , [加入人数：（ ）人]

体育系 [団体数：（ ）団体] , [加入人数：（ ）人]

18 公認サークルに対する支援の状況について、お答えください。

18-① 公認サークルに対する貴学（校）としての支援について、該当する項目を1つ選んでください。支援している場合には、18-②についてもお答えください。

- a 支援している
- b 支援していない

18-② 18-①で「a 支援している」を選んだ場合にお答えください。支援している内容について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 施設・物品の供与及び貸与
- b 施設・設備の整備
- c 経費の補助（※後援会からの経費の支援は含まない）
- d リーダー養成セミナーの実施
- e 専属指導者（コーチ等）の招聘・費用負担
- f オリエンテーション等で公認サークル活動への参加を推奨
- g 公認サークル活動を通じて地域に貢献
- h 事故防止のためのガイダンス、説明会、研修会の実施
- i 事故に対応する保険の加入指導
- j 危機管理マニュアルの制定
- k 体育系サークルの試合結果などを学内広報、応援参加を推奨
- l 文化系サークルの発表活動などを支援
- m その他（ ）

19 学生表彰（学業を除く）について、お答えください。

19-① 学生表彰（学業を除く）の実施状況について、該当する項目を1つ選んでください。実施している場合には、19-②についてもお答えください。

- a 実施している
- b 実施していない

19-② 19-①で「a 実施している」を選んだ場合にお答えください。対象となっている活動について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 課外活動（サークル活動、スポーツ、文化芸術、学術等）
- b 社会活動（ボランティア活動、人命救助等）
- c 国際交流活動
- d その他（ ）

20

ピア・サポート（※）等、学生同士で支援する制度の実施状況について、お答えください。

※ピア・サポート：学生生活上で支援（援助）を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う制度。

20-① ピア・サポート等、学生同士で支援する制度の実施状況について、該当する項目を1つ選んでください。実施している場合には、20-②および20-③についてもお答えください。実施していない場合には必要な事項を記入してください。

- a 実施している
- b 実施していない

貴学（校）として今後実施したいと思っていますか。該当する項目を1つ選んでください。

- ア 実施したい
- イ 考えていない

20-② 20-①で「a 実施している」を選んだ場合にお答えください。貴学（校）として、今後ピア・サポートの取組をどのようにしていきたいですか。該当する項目を1つ選んでください。また、c～dに該当した場合には、必要な事項を記入してください。

- a 拡充したい
- b 現状維持
- c 縮小したい [理由： ()]
- d やめたい [理由： ()]

20-③ 20-①で「a 実施している」を選んだ場合にお答えください。ピア・サポートとしての具体的な活動を、下記の例にならって記入してください。

(記入例)

名称 (あれば記入してください)	報酬 (1時間)	支援領域 (該当する項目すべて○)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i (記入)
学生メンター	無給	○		○				○		
就活サポーター	無給			○						
スチューデントアシスタント	900円	○								

支援領域：

- a 学習サポート
- b 修学相談（履修相談等）
- c 就職アドバイス
- d 学生寮（寄宿舍）内の生活支援（レジデント・アシスタント等）
- e 障害学生支援
- f 留学生支援
- g 学生生活上の支援（障害学生支援・留学生支援を除く）
- h 学生間の仲間づくり
- i その他 ()

2 1 学生のボランティア活動に対する支援について、お答えください。

2 1-① 学生のボランティア活動に対する支援について、該当する項目を1つ選んでください。実施している場合には、2 1-②および2 1-③についてもお答えください。

- a 実施している
- b 実施していない

2 1-② 2 1-①で「a 実施している」を選んだ場合にお答えください。以下の具体的な支援の実施状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。また、「j」を選んだ場合には、必要な事項を記入してください。

- a ボランティア活動の「単位」認定
- b ボランティア活動に参加する学生への修学上の配慮
- c ボランティア活動に関する授業科目の設置
- d ボランティア募集に関する情報収集・提供
- e ボランティア活動を希望する学生と受入れ先との調整
- f ボランティア活動に参加する学生対象の事前研修会等
- g ボランティア活動における事故に対応する保険の加入指導
- h ボランティア活動に対する経済的な支援
- i 大学等においてボランティア事業を企画・実施
- j ボランティア活動専門の部署を設置 [部署名： ()]
- k ボランティア活動専任スタッフを配置
- l その他 ()

2 1-③ 2 1-①で「a 実施している」を選んだ場合にお答えください。学生のボランティア活動支援において、実施している分野に該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 国内の災害地への援助活動（災害地への物資援助などの救助活動、募金活動他）
- b 地域社会活動（自治体の手伝い、消防・防災・交通安全などの活動、村・町おこし）
- c 国際交流・協力活動（留学生や外国人の相談相手、通訳、ホームステイなど）
- d 自然・環境活動（生物・植物の保護、掃除などの環境整備、リサイクル活動など）
- e 保健・医療活動（病気の人の手助け、健康を守る活動など）
- f 福祉活動（お年寄りや障害のある人などを助ける活動など）
- g 教育・文化・スポーツ活動（子どもの学習の面倒をみる、生涯学習活動、伝統文化の継承、博物館美術館などでの作品説明、史跡など観光施設の説明、スポーツ教室）
- h その他 ()

2 2 課外活動支援、ピア・サポート、ボランティアに関して、課題となっていることがありましたらお書きください。

()

【VI 学生相談】

本項目は、学生相談室・カウンセリングセンター・保健管理センター等で、学生の悩み等について相談・支援する活動を対象としています。

- 2 3** 学生相談の内容について、前回調査時（平成 22 年度）と比較して、件数が増えている項目はありますか。下表の 1～11 の項目について、該当する記号（a～c）を 1 つ選んでください。

項目	a～cから 1つ選択
1 対人関係（家族、友人、知人、異性関係）	
2 精神障害（気分障害、不安障害、統合失調症等）	
3 心理・性格（アイデンティティ、セルフコントロール等）	
4 修学上の問題	
5 進路・就職	
6 発達障害（アスペルガー障害、ADHD（注意欠陥多動性障害）、LD（学習障害）等）	
7 経済的問題	
8 ハラスメント、人権侵害	
9 悪徳商法、法律相談	
10 身体障害	
11 その他（ ）	

a 増えている
b 増えていない
c 把握していない

- 2 4** 学生相談に関する組織について、お答えください。

2 4-① 学生相談に対応する組織・人について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

また、a～bに該当した場合は、2 4-②および2 4-③についてもお答えください。

- a 学生の相談に対応する独自の組織（学生相談室等）
- b 保健管理センターや保健室など
- c 学生部や学務課等の事務組織
- d 学生支援センター等の総合的な組織
- e クラス担任、指導教員等の教員
- f 学生委員会等の委員会組織
- g その他（ ）

2 4-② 2 4-①で a～b に該当した場合にお答えください。学生相談に対応する組織（2 4-①の a, b）の開室状況について、1 週間当たりの開室時間を記入してください。

- a [開室時間：1週間当たり（ ）時間]
- b [開室時間：1週間当たり（ ）時間]

2 4-③ 2 4-①で a～b に該当した場合にお答えください。過去 3 年の学生相談件数を記入してください（2 4-① a, b における延件数）。可能であれば、相談者の内訳も記入してください。

平成 2 2 年度 [相談件数：（ ）件]，[内訳：学生（ ）件、教職員（ ）件、保護者（ ）件]
 平成 2 3 年度 [相談件数：（ ）件]，[内訳：学生（ ）件、教職員（ ）件、保護者（ ）件]
 平成 2 4 年度 [相談件数：（ ）件]，[内訳：学生（ ）件、教職員（ ）件、保護者（ ）件]

24-④ 学生相談に対応する組織と学内の他組織との連携状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 全学的に定期的に連絡会議を行っている
- b 担当組織間で定期的に会議を行っている
- c 担当者間で連絡を取っている
- d 学生支援関係の委員会に参加している
- e 危機管理関係の委員会に参加している
- f 特に連携していない

24-⑤ カウンセラー（※）および医師の配置状況について、該当する項目をすべて選んで○をしてください。また、a～bに該当した場合には、必要な事項を記入してください。

※ここでの「カウンセラー」とは、「臨床心理士」ないしは「大学カウンセラー」（「日本学生相談学会」認定）の資格を持つものとします。

- a カウンセラーを配置している [人数：常勤（ ）名、非常勤（ ）名]
- b 医師を配置している [人数：常勤（ ）名、非常勤（ ）名]
- c いずれも配置していない

25 学生相談にかかわる教職員等の知識・技能の向上のため、どのような取組を実施していますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 学内で学生相談に特化した研修を企画・実施している
- b 担当者に学協会等の研修を受講させている
- c 担当者にJASSOの研修会を受講させている
- d 学生相談に特化していないが、学内のFD・SD研修で実施している
- e 実施していない

26 学生相談に関する学外機関との連携について、お答えください。

26-① 学生相談に関する学外機関との連携状況について、該当する項目を1つ選んでください。連携している場合は、26-②についてもお答えください。

- a 連携している
- b 連携していない

26-② 26-①で「a 連携している」を選んだ場合にお答えください。連携している学外機関について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

- a 医療機関
- b 発達障害者支援センター
- c 国や自治体主体の就職支援組織・団体（ハローワークなど）
- d 消費者センター
- e 警察署
- f 弁護士
- g その他（ ）

27 学生相談に関する課題のうち、以下の問いにお答えください。

27-① 学生相談に関する今後の課題として、特に必要性が高いと思われる事項はありますか。下表の1～18の項目について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

27-② 今後、学生相談に関する取組を充実させていくにあたり、貴学（校）単独では実施困難と思われる事項はありますか。下表の1～18の項目について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

項目	27-① 必要性 が高い	27-② 単独では 実施困難
1 悩みを抱えていながら相談に来ない学生への対応		
2 学生への予防教育的活動		
3 学生の保護者への対応		
4 複雑かつ多様な相談内容への対応		
5 精神的危機の状況にある学生への対応		
6 相談員の増員		
7 相談員の専任化		
8 相談員の専門性の向上		
9 相談員の待遇の改善		
10 相談員と教職員との連携・協働		
11 相談員や教職員に対する研修		
12 学生相談の体制・環境整備		
13 学生相談対応のためのマニュアル作成		
14 学内の他の学生支援部門との連携		
15 学外の専門機関（医療機関・学生相談機関等）との連携		
16 他大学等の先進的取組等の情報収集		
17 外国の大学等における取組の情報収集		
18 その他（ ）		

28 学生相談に関して、ご意見等がありましたらお書きください。

()

【Ⅶ その他】

29 学生支援全般に関して、ご意見等がありましたらお書きください。

()

御協力ありがとうございました。

今後の参考とさせていただくため、日本学生支援機構への要望等がありましたらお書きください。

()

学生支援の取組状況に関する調査協力者会議 委員一覧

沖 清豪 早稲田大学 文学学院 教授

小貫 有紀子 大阪大学 未来戦略機構戦略企画室 特任講師

◎ 川島 啓二 国立教育政策研究所 高等教育研究部長

小島 佐恵子 玉川大学 教育学部 准教授

佐藤 純 茨城県立医療大学 保健医療学部 准教授

橋場 論 福岡大学 教育開発支援機構 講師

望月 由起 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター 特任准教授

(五十音順・敬称略)

(◎：主査)

学生支援の取組状況に関する調査協力者会議 設置要項

平成 25 年 4 月 26 日

理事決定

1. 目的

独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）が実施する「大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況に関する調査」について、調査項目・実施方法の検討、分析等を行うことを目的として、学生支援の取組状況に関する調査協力者会議（以下「協力者会議」という。）を設置する。

2. 役割

協力者会議は本調査の実施に係る次の各号に掲げる事項について検討する。

- (1) 調査項目，実施方法，調査結果の分析等に関すること。
- (2) その他，協力者会議において必要と認める事項に関すること。

3. 組織及び委員の委嘱

- (1) 協力者会議は，学識経験者等で構成し，6名程度とする。
- (2) 委員の任期は原則2年とし，再任を妨げない。
- (3) 委員に欠員が生じ，協力者会議で必要と認める場合は，補欠の委員を置くことができる。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

4. 運営

- (1) 協力者会議に主査を置き，委員の互選によりこれを定める。
- (2) 協力者会議は主査が招集し，主査がその議長となる。
- (3) 主査に事故があるときは，あらかじめその指定する委員が，その職務を代理する。

5. 庶務

協力者会議の庶務は，学生生活部学生支援推進課において処理する。

6. その他

この要項に定めるもののほか，協力者会議の運営に関し必要な事項は，別に定める。

附 則

この要項は，平成 25 年 4 月 26 日から施行する。

学生支援の最新動向と今後の展望

—大学等における学生支援の取組状況に関する調査(平成25年度)より—

発行日 平成26年12月

編集発行 独立行政法人日本学生支援機構
学生生活部 学生支援企画課 学生支援調査室
〒135-8503 東京都江東区青海 2-2-1
TEL 03-5520-6169 FAX 03-5520-6048
URL <http://www.jasso.go.jp/>
